

《共通基礎科目 教養教育科目》

科目名	私たちと人権				
担当者氏名	佐谷 力				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択	開講年次・開講期	1年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 教養教育-1 国際社会に貢献できる人材育成				

《授業の概要》

国内外の人権・差別問題について、具体的な事例を取り上げ、解決策等について考える。その中で、積極的に協議に参加する姿勢を持つことと、自分の考えをまとめてわかりやすく伝える力を養えるように、アクティブラーニングの手法を活用した取り組みを進める。

《テキスト》

なし

《参考図書》

参考資料・文献は、講義の中で紹介する。

《授業の到達目標》

自分を大切にするとともに他の人の思いや人権を尊重する態度と精神を学び、それを自らの生き方に反映させていくことを目標とする。そのため、社会における人権にかかわる諸問題について学ぶ。

《授業時間外学習》

- ・ 次回のテーマについて調べてくる。
- ・ 学習したテーマについての課題や解決に向けての方法を考察し、まとめる。
- ・ 出された課題について仕上げて提出する。

《成績評価の方法》

平常点（発表、受講態度など） 20%  
 提出物（プリント、レポート） 40%  
 定期試験 40%

《備考（教員経験の有無）》

この教科は小学校の教員経験に基づき構成しています

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション	共感性の育成について
2	人間関係トレーニング	アサーショントレーニング
3	さまざまな人権問題	人種差別の実態
4	さまざまな人権問題	ジェンダー、男女共同参画社会の実現
5	さまざまな人権問題	戦争中の人権、平和について
6	さまざまな人権問題	視覚障害の実際
7	さまざまな人権問題	聴覚障害の実際
8	さまざまな人権問題	身体障害の実際
9	さまざまな人権問題	発達障害の実際と支援方法
10	さまざまな人権問題	部落差別の歴史
11	さまざまな人権問題	部落差別の現状と課題
12	さまざまな人権問題	在日外国人問題の歴史
13	さまざまな人権問題	在日外国人問題の現状と課題
14	さまざまな人権問題	子どもの人権
15	まとめ	人権学習の進め方